

道

2022年5月1日
(第81号)



真備町箭田く服部 遠田地区

小田川南側堤防から南向

(中央下部に我が家)

(左下部に椋の木)

NHK朝の連続ドラマで、主人公の女子高生(暢子)が着ていたブラウスの継ぎ当てを金持ちの息子に押搦されるシーンがあった。それを見て僕は思い出した。継ぎ当てズボンで高校に通っていたことを。片道一五キロ程の自転車通学でズボンの尻が擦り切れ、それを母が補修した。一九六〇年代後半のこと。ドラマの時代に重なる。▼話は変わる。当時、アジアの小国ベトナムにアメリカが大軍を送りこんで侵略した。ベトナム戦争。沖縄はその重要な基地になった。アメリカはベトナムの町や村を爆撃、襲撃し、ジャングルには枯葉剤をまいた。戦争は、アメリカの敗北で終わるが、死者は合わせて四百万人を超えるとも言われる(諸説あり)。▼あれから半世紀。今、ロシアがウクライナを侵略する。破壊されたウクライナの街などをみるにつけ、そこに居た人々はどうしているのかに考えが及ぶ。ロシアでは反戦の運動や言論が違法となり、報道は大統領を称え戦争を賛美する一方的なもので占められる。▼想像力を研くこと、自由に発言でき異論が受けとめられること、これこそ平和に繋がるのだ。▼話をドラマに戻す。継ぎ当てをあざ笑い家族を罵る男に暢子は敢然と立ち向かう。また、暢子の姉・良子は、「貧しさを恥じた自分が恥ずかしい」と、母親・優子にその心情を涙ながらに吐露する。▼僕はというと、貧乏が心にまで住みつき、いじいじ小さくなって生きていた。しかし、希望を失ってはいなかった、と思う。

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

TEL. 090-5366-1497

MAIL michi-care@outlook.jp

H.P. <https://michi-care.jimdo.com/>

林 道 也



遠田 椋の木